

WG 2 報告 骨子案（目次）に係る各委員提出意見

- ・ 大守委員提出資料
- ・ 岡室委員提出資料
- ・ 中村委員提出資料
- ・ 櫛委員提出資料

WG2 報告 骨子案（目次）に関するコメント

大守 隆

- 2 . ではまず SNA 関係の項目を掲げた後に、例えば「(3) 体系的整備に関するその他の視点」というような項目を明示的に掲げて、グローバル化への対応、アウトカム指標の整備などについて議論すべきではないか？（SNA が重要であることは論を待ちませんが、SNA を超えた未来志向的な発想も重要だと思います）。

- 2 . の SNA 関係の項目の順序を、例えば (1) 産業連関表の精度向上と SNA との連携強化、(2) 年次推計の改善、(3) QE の改善というように、土台となっているものから順に議論すべきではないか？

- 2 . の (2) の中にある、三面アプローチ関係、財政統計との関わり、ストック統計との関わり、国際標準との整合性確保、といった項目は年次推計だけの問題ではなく、基準年推計や QE とも関連する。基準年、年次、QE の議論と並列的な位置づけにしてはどうか？

- 3 . 重点的な整備の中の冒頭に、

(1) 経済センサスの実施と SNA 推計改善への貢献

を議論すべきと考える（今後の経済関係統計の基礎としてきわめて重要と考える）

最後にメッセージをまとめた「まとめ」が必要（プレスの方が記事にし易いようにメリハリをつけたまとめ）。その中で、リソースの問題にも明示的に言及すべき

- 以上 -

岡室委員提出意見

- ◆ 第15回WG会合で提出された座長・事務局作成の骨子案では、自分の担当分野に関連する項目（「企業の組織活動を捉える統計の作成」及び「企業のサービス活動を適切に捉える統計の作成」）が、「3.(1) ビジネス・レジスターの構築と企業統計の体系的整備」と「3.(4) サービス活動を捉える統計の整備・充実」に分けて記述されている。
- ◆ しかし、経済センサスにおけるサービス活動の把握と企業活動基本調査におけるそれは、つまり企業内のサービス活動の分担と企業間(企業グループ内)のそれは、振り分けて書くのではなく、一体化してこそ意味がある。
- ◆ (1)の企業統計の体系的整備には、むしろ企業活動基本調査においてサービス活動の分担を把握することを書くべき。なぜなら、経済センサスは基本的に事業所の統計であるからである。
- ◆ (1)の中の「企業の組織活動を捉える統計の作成」を(4)に、また「企業グローバル化」の話を(3)に移すことを提案する。(1)に、基本的な企業統計である企業活動基本調査を改善・拡充することを盛り込むのはよいが、具体的な整備の方向は(3)ないし(4)にまとめるべき。

(以上)

WG 2 報告骨子案への意見

2008年7月14日

中村 洋一

具体的に対応が図られるべきとされる課題だけでなく、中長期的課題となる事柄についても、リソースの制約を理由に記述することを避けるのではなく、原則、すべて盛り込むべきものと考えます。制約条件が緩和するにつれて、将来の基本計画の変更に際し、具体的な対応を盛り込むこととすればよいと考えます。

全体の構成については、1. 経済統計のインフラとしてのビジネス・レジスターおよび経済センサス、2. JSNA の体系的整備、3. 経済活動的確な把握と分析のための一次統計の整備、と整理することが考えられます。2および3はともに1を基礎とし、互いに深く関連するものと位置づける、としてはどうでしょうか。

その上で、2については（野村委員の定義による）ESRI JSNA をその一部として含む JSNA の全体を検討対象とし、次のような構成を考えてはどうでしょうか。

- (1) （中長期的方向として）供給・使用表を計数調整の場とする3面推計への移行。供給・使用表と統合的な産業連関表の作成。
- (2) コモ法の基盤情報の整備、商品・部門分割の細分化など
- (3) 93SNA Rev. 1 への対応
- (4) QE の精度向上、範囲の拡充、一層の早期化のための基礎統計の整備および推計方法の改善
- (5) ストック統計の体系的整備
- (6) SNA、GFS に対応する財政、社会保障、医療費統計の整備
- (7) サテライト勘定の整備

「WG2 報告 骨子案」についてのコメント

「経済統計整備の考え方」について

- ・ サービスなど「質」の計測に関して検討を行う常設の研究会の設置なども盛り込んで
はどうか

「一次統計と国民経済計算との連携強化等による統計の体系的整備」について

- ・ QEの精度向上と年次推計の改善に分けて項目が立てられているが、QEで取り上げられている論点と、年次推計で取り上げられている論点の重複が多々あるので、
組み換えが必要ではないか。

以下は一案

国民経済計算の体系的整備

- ・ 国際基準との整合性の確保(FISIM など)
- ・ 遡及系列の整備など利用者の利便性向上
- ・ 補助系列の公表など

基礎、関連統計の整備

- ・ 産業関連表との関係（産業関連表の整備）
- ・ ストック統計改善のための基礎統計の整備
- ・ 消費に関する精度向上のための統計調査（消費状況調査の拡充など）
- ・ 財政関連情報の強化
- ・ 行政記録の活用

推計方法の改善

- ・ コモ法の改善など
- ・ 季節調整手法の再検討
- ・ 分配面からの推計（QE,年次推計）